



クリーンピア共立

分ければ資源 混ぜればごみ

プラスチック製容器包装類の

品質検査が **Aランク** 評価達成!



～プラスチック製容器包装類のロール品検査の様子～

収集された『プラスチック製容器包装類』はリサイクルセンターで中間処理（破袋・手選別・梱包）を行った後、再商品化（リサイクル）を委託する公益財団法人日本容器包装リサイクル協会（以下「容リ協会」）に引き渡しをしています。容リ協会では、容器包装リサイクル法に基づく分別収集物の品質向上と維持のため、毎年度、異物の混入を確認する**品質検査（容器包装比率評価※1・破袋度評価※2・禁忌品評価※3）**を実施しています。

昨年度は**禁忌品**（画びょう一個）の混入が確認され**最低のDランク評価**と残念な結果でしたが、今年度は検査項目のすべてで最高ランクの**Aランク評価**でした。

このたびすべての項目でAランク評価となりましたことは住民の皆さまより適正分別にご理解とご協力を頂いたことによるものと感謝申し上げます。

今年度は**Aランク評価**に
（昨年度はDランク評価）



禁忌品は作業員の**ケガの原因**となります。絶対に入れないでね!!

『ペットボトル』においても『プラスチック製容器包装類』と同様、容リ協会に引き渡し、検査を受けています。昨年度に続き、今年度も**Aランク評価**となりました。

ペットボトルも昨年度と同じ
Aランク評価に



～プラスチック製容器包装類の品質検査の様子～

しかしながら、リサイクルセンターの手選別工程では、今日もなお**禁忌品**が見つかっている状況にあります。

適正な分別と中間処理によりAランク評価の品質が保たれますと、リサイクル費用が安く済み容リ協会から**合理化拠出金**※4（お金）が支払われ、市町負担金を軽減することができます。最低Dランク評価になりますと合理化拠出金がもらえなかったり、引き取りをしてもらえなくなります。

今後とも処理施設での異物の除去等、品質向上への取組みをより一層強化していきますが、**リサイクルの出発点である家庭での分別が重要です**。住民の皆さまには引き続き適正分別に、ご理解とご協力をお願いします。

※1：容器包装比率評価 1 ペール品に容器包装以外の異物がどれぐらいの比率で入っていたかを評価
 ※2：破袋度評価 ごみ収集袋の破袋度・手選別工程での破袋度及び収集袋が除去しきれずペール品にどれぐらい混入していたかを評価
 ※3：禁忌品評価 作業員のけがや火災の原因となる刃物・ライター・注射器針などの危険物や医療系廃棄物がどれぐらい入っていたかを評価
 ※4：合理化拠出金 リサイクル費用が想定よりも少なく済んだ場合、そのうちの半分が再商品化の義務を負う事業者から容リ協会を経由し、市町村へ品質検査結果とリサイクルの貢献度に応じて支払われるお金

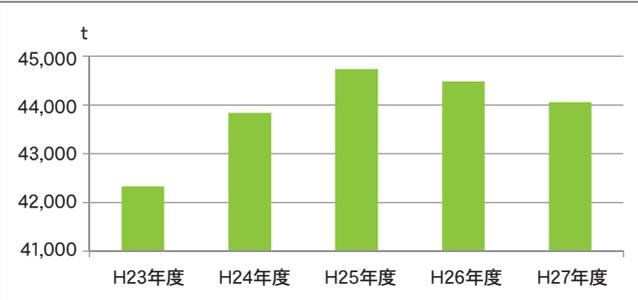
禁忌品とは、
重大な障害となる異物を
 いいます。
 一医療系廃棄物、
 一危険物（ガスライター、スプレー缶、乾電池、カミソリ、刃物、金属、ガラスの破片等）



平成27年度 収集処理実績のあらまし

ごみ搬入量の推移 前年度比 0.9%減少

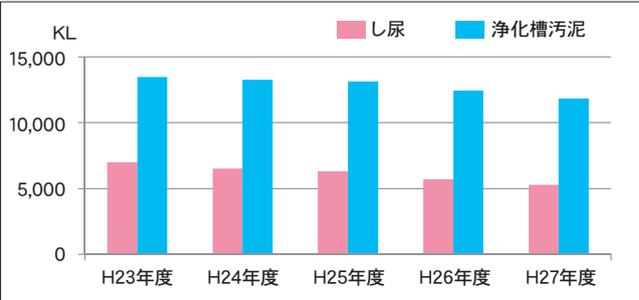
ごみは減少しています



ごみ搬入量は、平成26年度が44,484t、平成27年度は44,062tで、前年度比0.9%の減少となりました。平成23年度から平成25年度までは増加傾向でしたが、平成25年度から僅かずつですが減少しています。

し尿・浄化槽汚泥収集量の推移 し尿前年度比7.1%減少・浄化槽汚泥前年度比4.6%減少

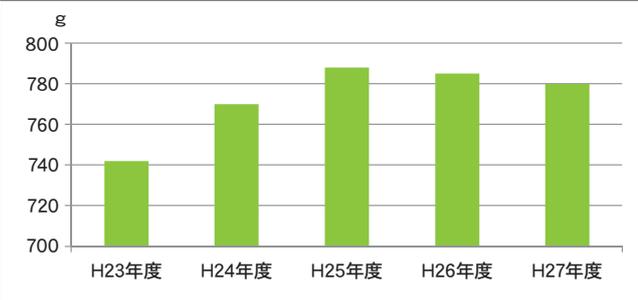
し尿・浄化槽汚泥ともに減少しています



し尿収集量は、平成26年度が5,701KL、平成27年度は5,297KLで、前年度比7.1%の減少となりました。浄化槽汚泥収集量は平成26年度が12,346KL、平成27年度は11,774KLで、前年度比4.6%と減少しています。

一人一日あたりのごみ排出量の推移 前年度比 0.6%減少

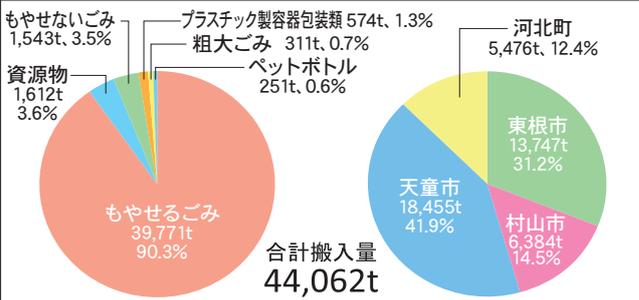
一人一日 5g 減少しています



一人あたりのごみ排出量は、平成26年度が785g、平成27年度が780gで、前年度比0.6%の減少となりました。平成23年度から平成25年度までは増加傾向でしたが、平成25年度から僅かずつですが減少しています。

ごみの搬入量の割合

ごみ種別の割合 構成市町別の割合



ごみ種別の搬入量は、もやせるごみ39,771t、資源物1,612t、もやせないごみ1,543t、プラスチック製容器包装類574t、粗大ごみ311t、ペットボトル251tとなりました。構成市町別の搬入量は、東根市13,747t、村山市6,384t、天童市18,455t、河北町5,476tとなりました。

水切りの例

例1 水に濡らさない



三角コーナーに水分の少ない物（タマネギの皮や野菜くず）を入れない。（はねた水を吸収してしまうため）

例2 重しで水切り



三角コーナーの生ごみに上に重し（小石などを入れたペットボトル）などを一晩置いておく。

例3 ごみを出す前にひとしぼり

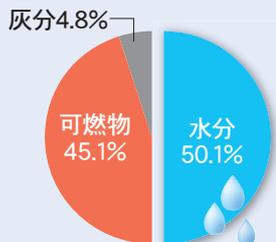


三角コーナー水切りネットなどをつかい、捨てる前に手やいらなくなったCD等を使って絞る。手袋をすれば汚れません。

生ごみの水分を減らすだけでいやな臭いが軽減され、軽くなり、ごみ出しが楽になります。そして、水分が減った分袋に余裕ができますので、指定ごみ袋の消費枚数も少なくて済みます。では水分を減らすにはどのような方法があるのでしょうか。いくつかの例を紹介しましょう。

生ごみの水切りは簡単でいらじょうばかり

もやせるごみの水分の割合



平成27年度 可燃性ごみ（もやせるごみ）の組成分析結果（ごみ三成分）



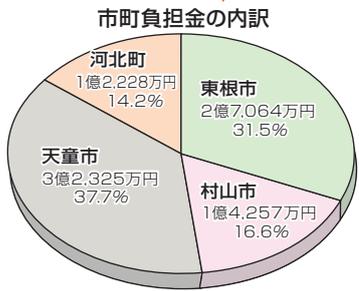
水切りはちょっとした工夫だね

もやせるごみの約5割が水分です。特に生ごみは8割が水分を占めています。生ごみを減らすことができれば、もやせるごみの量を減らすことができます。生ごみの水切りを行えば、ごみの減量化と地球温暖化の原因でもあるCO₂の削減にも繋がります。

もやせるごみの5割以上が水分です

歳入内訳 歳入合計 **20億4,835万円** (前年度対比 **2.1%増加**)

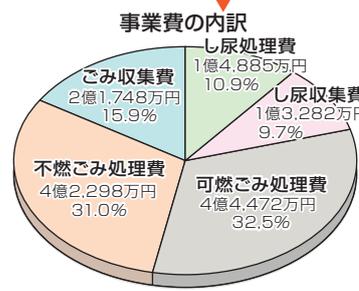
項目	金額	構成比
皆さんの住んでいる市や町からの負担金	8億5,874万円	41.9%
し尿やごみの収集処理手数料、ごみ袋の売上金	8億5,805万円	41.9%
国から借入れたお金(借金)	8,770万円	4.3%
借金返済のために、国から交付されたお金	8,226万円	4.0%
ペットボトル・アルミ・鉄類の売却代、土地の貸付収入など	5,394万円	2.6%
前年度からの繰越金	5,259万円	2.6%
基金からの繰入金	4,147万円	2.0%
紙製資源の売却代、預金利子収入、そのほかの収入	1,316万円	0.6%
組合の事業に対して国・県から交付されたお金	44万円	0.1%



◆歳入の特徴◆
 ・指定ごみ袋の値上げ前の駆け込み需要による証紙収入の増
 ・し尿・ごみ収集処理手数料改定による処理手数料収入の増
 ・売却単価が安価で推移したことによる、財産収入の減

歳出内訳 歳出合計 **19億4,657万円** (前年度対比 **0.4%減少**)

項目	金額	構成比
し尿やごみの収集・処理、施設の維持管理などに使われたお金	13億6,685万円	70.2%
組合の全般的な事務や財産の管理などに使われたお金	3億2,798万円	16.8%
組合債(借金)の元金返済に使われたお金	2億5,057万円	12.9%
組合議員の報酬や旅費、議会の運営などに使われたお金	117万円	0.1%



◆歳出の特徴◆
 ・施設整備総合計画(長寿命化計画等策定業務)による総務費の増
 ・下釜最終処分場第一区画キャッピング等工事*による事業費の増
 ・埋立処分地(下釜最終処分場)施設建設工事債の償還終了による公債費の減

*キャッピング等工事: 埋立物の安定化の促進と雨水等の浸透を抑制するために、ある程度の透水性と通気性を持たせたシートを使って最終覆土を行う工事です。



・ごみ焼却処理施設修繕工事(オーバーホール)
1億3,033万円



・粗大ごみ処理施設修繕工事(オーバーホール)
1,873万円



・下釜最終処分場第一区画キャッピング等工事
1億4,623万円



・施設整備総合計画(長寿命化計画等策定業務)
1,944万円

今ある施設を長く大切に使うための計画だよ。



「施設整備総合計画」を策定しました

ごみ焼却処理施設、粗大ごみ処理施設が稼働から20年を経過し老朽化していることから、新しい処理施設を建設するのか、今ある施設を延命化するか、将来的に廃棄物処理に必要な経費等について、比較検討しました。

この結果、平成49年度までの延命化により、約43億円の財政支出の抑制を見込めることから、今ある施設を長く大切に使う「延命化」に決定しました。

延命化を行うにあたっては、施設の重要な設備の更新(延命化工事)や機器の改修工事等の計画を定めた「施設整備総合計画」を策定し、次期処理施設の建設まで施設の機能を維持しながら安定的な運転管理を行います。

また、この計画では、すべての処理施設について、将来の施設規模、更新時期などを推測し、施設の配置や全体のスケジュールをまとめており、施設整備の指針となるものです。

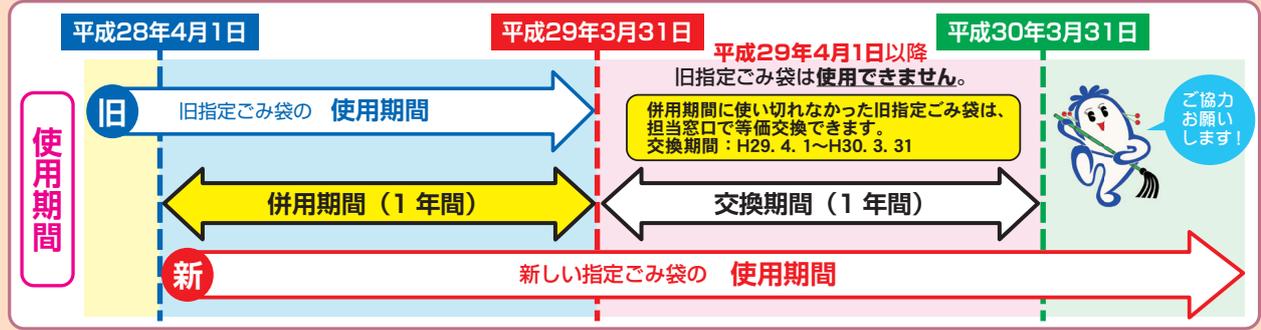
今後は、この計画を基に、廃棄物の安全かつ安定した適正処理を維持するとともに、財政支出の抑制と事業費の平準化に努めます。

この「施設整備総合計画(概要版)」は、クリーンピア共立で閲覧できるほか、ホームページにてご覧いただけます。

平成二十七年度の
主な事業

平成二十七年度決算をお知らせします
 歳入総額は、前年度対比二・一%増加の二十億四千八百三十五万円、歳出総額は前年度対比〇・四%減少の十九億四千六百五十七万円、歳入歳出差引額は、一億七十八万円となりました。

旧指定ごみ袋は、平成29年3月31日まで使用できます



【等価交換例】 旧指定ごみ袋(大袋)40円1枚を新指定ごみ袋(小袋)40円1枚に交換できます。

旧大袋(40円) 交換できます 新小袋(40円)

(旧大袋) 40円 1枚 (新小袋) 40円 1枚

注意 「指定ごみ袋販売店」では、交換できません。

平成29年3月31日までに使い切れなかった旧指定ごみ袋は、平成29年4月1日から、お住まいの市役所、町役場、クリーンピア共立の各担当窓口で新しい指定ごみ袋(各種)と等価交換ができます。

交換期間は、平成30年3月31日までの1年間です。

平成28年4月1日の証紙改定に伴い新しい指定ごみ袋になりました。お手元にある改定前の旧指定ごみ袋は、平成29年3月31日まで使用できます。

使い切れなかった旧指定ごみ袋は等価交換できます

ごみ収集車の火災が発生



平成28年4月5日に、もやせないごみの収集車から火災が発生しました。収集作業員の早期発見・初期消火によって、幸い被害が少なく済みました。収集車の積載物を確認したところ、**中身の残ったスプレー缶が混入**しており、原因はスプレー缶に残っていた可燃性ガスに何らかの点火源が引火したものと思われる。

もやせないごみの中には燃えやすいプラスチックが入っていますので大きな事故に繋がりがかねない危険な状況でした。

スプレー缶やカセット式ガスボンベの分別種別は資源物です。左の図の「スプレー缶・カセット式ガスボンベの出し方」のように**必ず中身を使い切り**、火の気のないところで**穴あけ**をして資源物として出してください。**適切な分別にご協力**をお願いいたします。

スプレー缶・カセット式ガスボンベの出し方

- 必ず中身を使い切る
- 火気のない風通しのよい屋外で穴をあける
- 資源物の指定日に出す

必ず中身を使い切ってから穴あけてね

情報公開制度運用状況をお知らせします

- 平成27年度の情報公開制度の運用状況は次のとおりです。
- 請求件数 10件
- (内訳) 入札結果及び業者指名状況・報告書や予算書の閲覧)
- 決定内容 全部公開 10件

庭木の剪定枝の自己搬入についてお願いします

ごみ焼却処理施設に可燃性粗大ごみとして大きい家具や角材等が搬入されると担当職員はごみ焼却炉が壊れないように機械で細かくせん断してからごみピットに投入しています。せん断中に長い剪定枝が搬入されると、プラットホームでのスムーズな受付ができなくなります。

剪定枝を搬入する場合は、ごみピットに直接投入できますように、**短く(50cm以下)**、**切って**いただきたく、ご協力をお願いいたします。

剪定枝を自己搬入するときのサイズ

切る ↓

長さ：50cm以下
直径：15cm以下

受付時間・各種手数料

受付時間	平日	午前9時～午後4時 (昼休みはありません)
	土・日曜日	第1、3の土・日曜日 午前9時～午前11時30分
	祝日	曜日を問わず休業
手数料	各種ごみ	10kgごとに180円
	小動物死体	1体につき2,000円 (ビニール袋に入れてダンボールで搬入)
	紙製資源	無料(雑誌・新聞・ダンボール)

※ホームページでも確認できます。
※直接搬入する際は、料金不足にご注意ください。

東根市外二市一町共立衛生処理組合
(愛称 クリーンピア共立)

〒999-3775
山形県東根市大字野田字シタ2038番地

電話 0237-47-1321(代)
FAX 0237-48-1841
ホームページアドレス
<http://www.kurinpia.or.jp>

役所・役場の問い合わせ先

粗大ごみの戸別収集の申し込みや、汲み取りトイレの新規登録は、お住まいの役所・役場にご連絡ください。

東根市生活環境課	生活環境係	0237-42-1111
村山市市民環境課	生活環境係	0237-55-2111
天童市生活環境課	ごみ減量推進係	023-654-1111
河北町環境防災課	生活環境係	0237-73-2111

